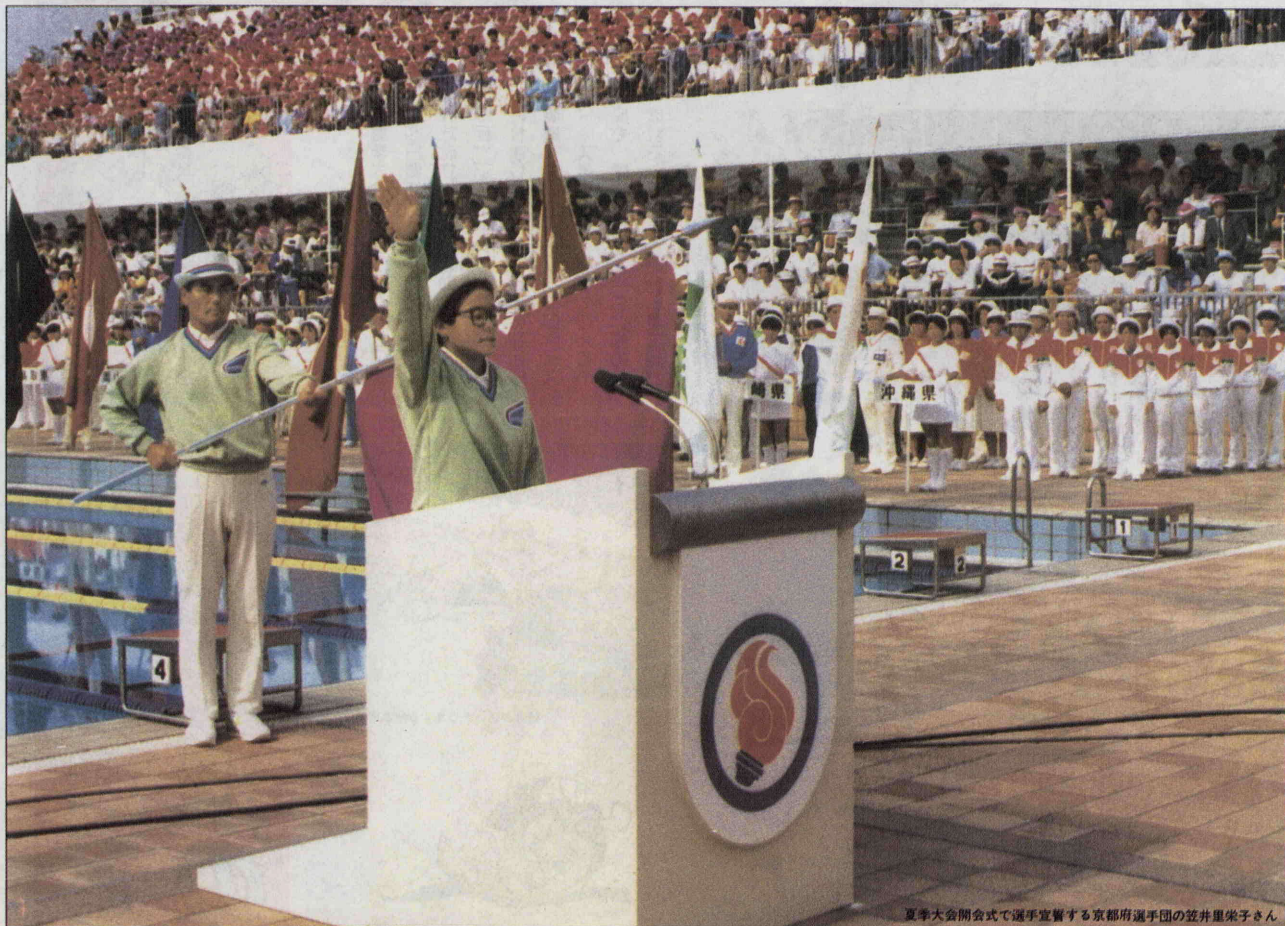




夏季大会開会式で選手宣誓する京都府選手団の笠井里栄子さん



夏に！秋に！花ひらいたスポーツの祭典

さんの多大なご協力ご尽力により、スムーズに運営を進めることができ、そして、全国の選手役員に送っていただいた皆さんの温かいまごころと、日ごろ培ってこられた市民運動の成果により、立派な大会にすることができました。

この「京都国体特集号」は、あの時の感動と感激をもう一度思い起こしていただくと共に、市民が一体となって大きな事業を成し遂げた喜びとエネルギーを、明日の街づくりに生かしていただきたいと念願して発行いたしました。

終わりに当たり、大会期間中とはもとより関連諸行事や諸準備などにご協力いただきました市民、関係者の皆さんに、心から厚くお礼申し上げます。

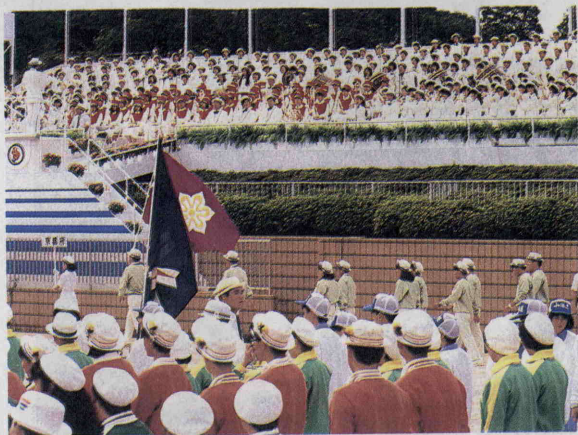


宇治市長
池本 正夫

「新しい歴史に向かって走ろう」のスローガンのもとに開かれた第四十三回国民体育大会は、感動のうちに閉幕し、一カ月を経過しようとする今も、その余韻を深く残しています。

本市では、夏季大会では主会場地として水泳競技を、秋季大会ではサッカー、ソフトボール競技を開催（馬術競技は共催）しました。各競技とも、市民並びに関係者の皆





▲青い世界に……シンクロと新体操の演技



▲光に向かってをバックに軽やかに踊る婦人会員ら

夏季大会は九月四日から七日まで四日間にわたり、開会式が行われた府立山城総合運動公園（太陽が丘）プールをメイン会場に展開されました。太陽が丘での種目は競泳、飛び込み、シンクロナイズド・スイミング。選手も迎える市民も、陽焼けした顔。白い歯のこぼれるふれあいと感動の夏でした。



歓迎のあいさつをする池本市長



▲小学生鼓隊のみことなドリル演奏



開会式典にご出席の池宮殿下

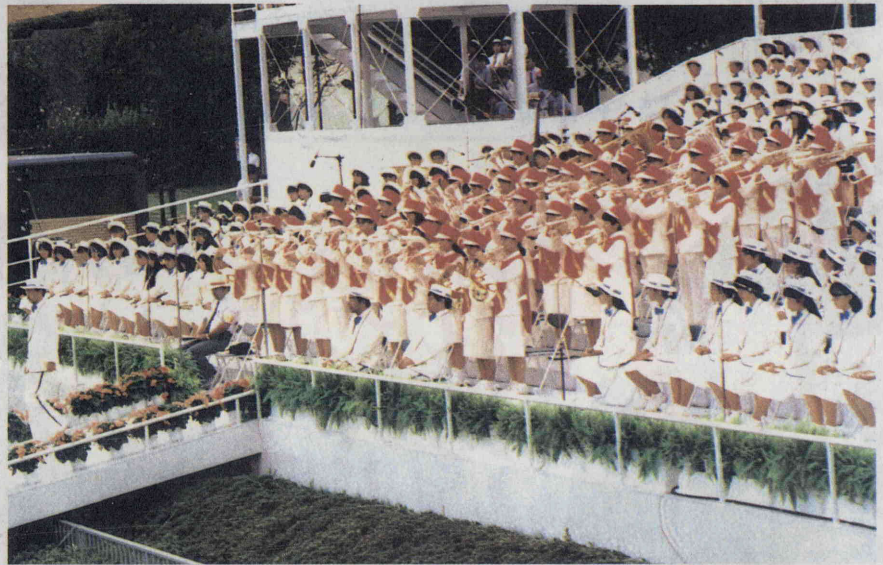
夏！わきたった 水の競演



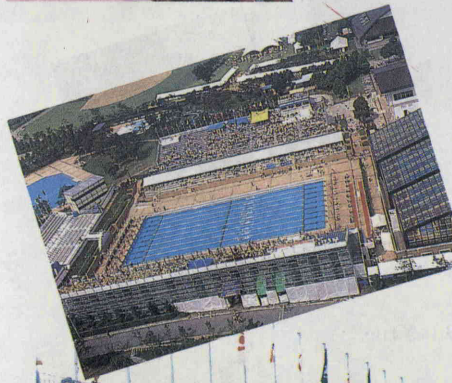
市火・炬火リレー

八月七日 今日も笠取の山並みから陽は昇る。太陽の光から採火された小さな火。それが新しい歴史の始まりだ。炬火は引き継がれ、手渡される。駆け、更に燃え盛る。炬火は、そうして一つの風風の火と名付けられた。

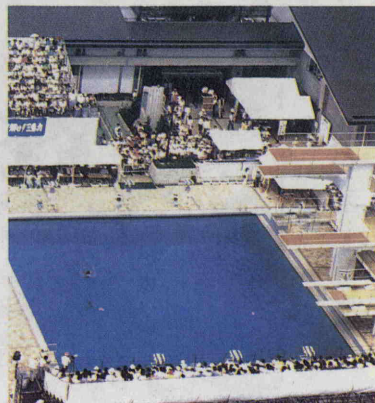




▲すばらしいハーモニーで式典を盛り上げた式典音楽隊



ブルスタンドでは連日拍手と歓声が……



▲京都大会から少年少女日が設けられ市内の中学生も出場（健闘の後インタビューに応じる）



お土産や食事もしみの一つ……くつろぐ選手たち



おいしい宇治茶をどうぞ



心づくしで広がった ふれあいの輪



▼選手や市民で休憩所はいつも大にぎわい



「歴史とお茶のまち」宇治ならではのふれあいを。会場や宿舎では、ボランティア、選手たちの笑顔があふれていました。各会場に設けられた茶席では、かわいい笑顔がちょっぴり緊張しておもてなし。市民あげて心づくしで皆さんをお迎えしました。人とのふれあいで心を温め、宇治橋から眺める美しい景観に心を洗った。宇治のまちから全国へふれあいの輪が広がりました。





▶宿舎でも地元の人たちとの交流が





▲堂々の入場行進をする京都府サッカーチーム



▲高円宮殿下もご観覧



さわやかな秋風に包まれ繰り広げられた熱い闘い、そして温かなふれあい。宇治の地に新しい歴史のページを刻み込んだ京都国体の秋季大会は、十月十五日から二十日まで開催。本市はサッカー競技（少年男子）、ソフトボール競技（成年男子一部二部、少年女子）の会場地となり、菊花に囲まれた各競技場では連日応援の声がこだました。また、府馬術競技場で行われた馬術競技でも、大会運営の一部を受け持ちました。

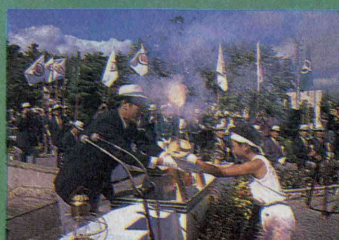


秋！青空高く

こだました大声援



▲練習の成果を結集して大会旗などを先導する小学生鼓隊



十月十三日、大会旗・炬火リレーが市内を通過。南山城村で採火された本火「躍進の火（東コース）」に、市火が合火され、久御山町へと引き継がれた。

本火・炬火リレー





ガンバレ!!
チビっ子も大声援



▲小学生の金管バンド



▲中学生の吹奏楽



▲少年少女合唱団



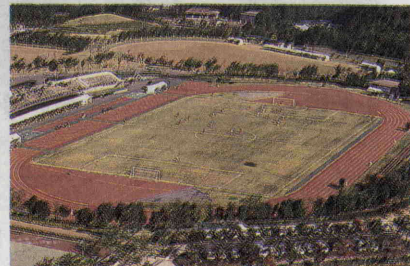
▲音楽連盟合唱隊



▲中学生も宇治川太鼓
とマスゲームで式典
に花を添えました



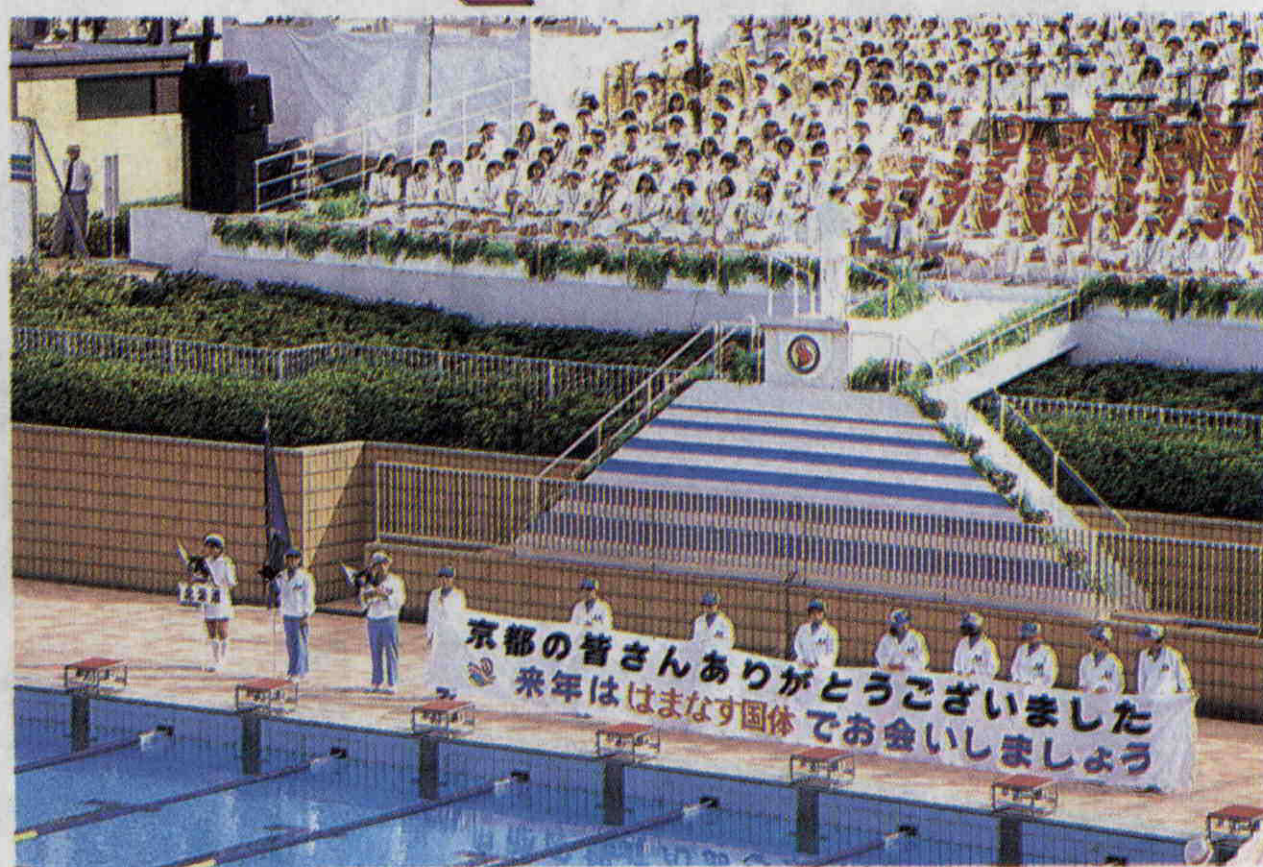
▲婦人会員の集団演技



函館市へ
大会旗引継式

限りない拍手におくられと

夏季大会
閉会式



晴れやかに…
笑顔がこぼれて…



尽きない思い出を残して秋季大会終わる…